

医歯学総合研究科
大学院セミナー
(医歯学研究講義認定)

大規模電気生理学と光遺伝学を用いた 記憶メカニズムの解明

講師: 水関 健司 先生

大阪公立大学 医学研究科 神経生理学講座 教授

日時: 7月28日(金曜日)16:30~18:00

場所: 南九州先端医療開発センター セミナー室

海馬はエピソード記憶やナビゲーションに重要ですが、海馬が他の脳領域とどのように協調して記憶やナビゲーションを支えているのかはよく分かっていません。本セミナーでは、①海馬がどの脳領域へ、どのような情報を、どのようなメカニズムで分配しているか、②エピソード記憶の獲得・定着・想起において、海馬・扁桃体・前頭前野がどのように相互作用しているか、を明らかにする目的で、大規模電気生理学と光遺伝学をラットに適用した研究を紹介します。

- 1) Kitanishi T, Umaba R, Mizuseki K (2021) Robust information routing by dorsal subiculum neurons. *Sci Adv*, 7(11): eabf1913.
- 2) Mizuseki K, Kitanishi T (2022) Oscillation-coordinated, noise-resistant information distribution via the subiculum. *Curr Opin Neurobiol* 75:102556.
- 3) Miyawaki H, Mizuseki K (2022) De novo inter-regional coactivations of preconfigured local ensembles support memory. *Nat Commun* 13:1272.

大学院生向けのセミナーですが、教員、医員、学生の皆様のご来聴も歓迎します。Zoomによるオンライン参加も可能です。オンライン参加希望の場合、以下から登録を行ってください(登録された方に後日アクセス情報を送ります)。博士課程生は医歯学研究講義の出席としてカウントいたします。

<https://www3.kufm.kagoshima-u.ac.jp/physiol2/news/newsn.cgi?59>

問合せ先: 神経筋生理学分野 田川義晃 (内線 5234)